

平成30年度災害における TEC-FORCEの活動について 他

令和元年6月6日

水管理・国土保全局 防災課

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の概要

TEC-FORCEとは

※TEC-FORCE(TEchnical Emergency Control FORCE):緊急災害対策派遣隊

- 大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設
- TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施
- 本省災害対策本部長等の指揮命令のもと、全国の地方整備局等の職員が活動
- TEC-FORCEは「防災基本計画(H30.6中央防災会議)」、「南海トラフ地震防災対策推進基本計画(H26.3中央防災会議)」、「首都直下地震緊急対策推進基本計画(H27.3閣議決定)」等に位置付けられている

活動内容

災害対策用ヘリコプターによる被災状況調査



【H27.9 関東・東北豪雨】
(茨城県常総市)

市町村へのリエゾン派遣



【H27.5 口永良部島の火山活動】
(鹿児島県屋久島町)

被災状況の把握



【H29.7 九州北部豪雨】
(福岡県東峰村)

Ku-SAT※による監視体制確保



【H26.9 御嶽山の噴火】(長野県王滝村)
※Ku-SAT: 小型衛星画像伝送装置

自治体への技術的助言



【H28.4 熊本地震】
(熊本県庁)

排水ポンプ車による緊急排水



【H30.7月豪雨】
(岡山県倉敷市真備町)

捜索活動への技術的助言

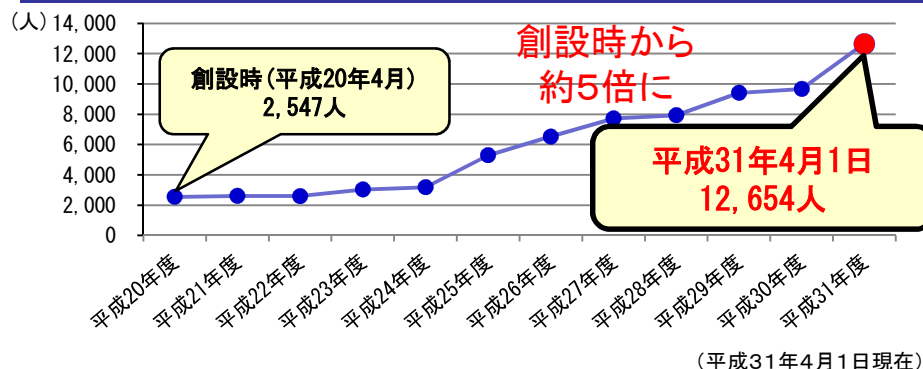


【H28.4 熊本地震】
(熊本県南阿蘇村)

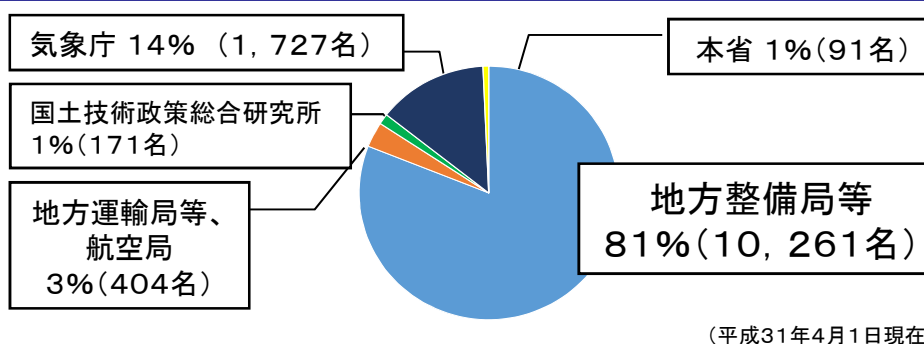
TEC—FORCE隊員を1万2千人規模に増強

- 平成20年の創設から11年目、これまで93の災害にのべ約8万人の隊員を派遣
- 全国の地方整備局等で行われている訓練、人材育成などにより隊員数は1万人を突破
- 各地方整備局・運輸局、地方航空局、国総研、国土地理院、気象庁など国土交通省の多岐にわたる業務の専門性と「現場力」を活かした調査、技術指導等による自治体支援を今後も実施

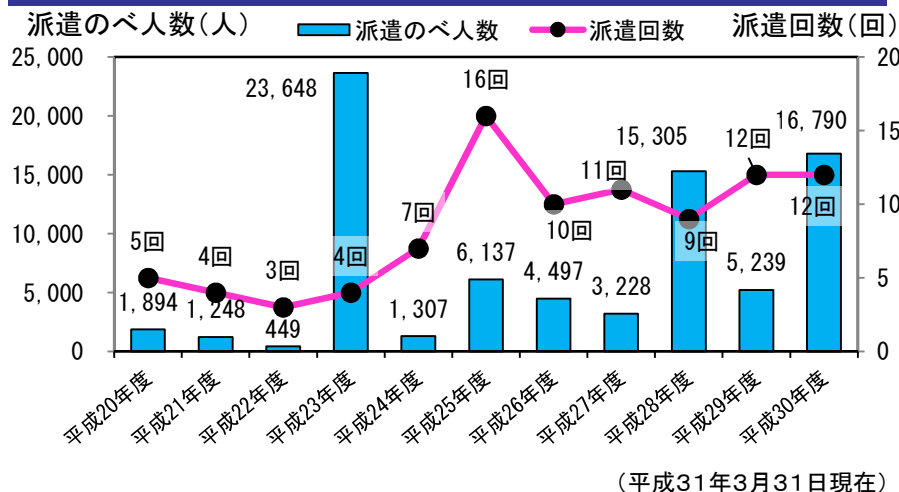
隊員数の推移



登録隊員数の構成(組織毎)



派遣実績(年度別)



災害派遣の状況



リエゾンによる被災自治体との連絡調整
平成28年熊本地震(熊本県南阿蘇村)



公共土木施設の被災状況調査
平成29年九州北部豪雨(福岡県東峰村)



ドローン操作訓練(九州地整)



レーザー計測機による被災状況調査
平成26年広島土砂災害(広島県広島市)



住民の方々に対する説明会を実施
平成27年口永良部島の噴火(鹿児島県屋久島町)



レーザー距離計による計測演習(中部地整)

平成30年7月豪雨への派遣

- 中国や四国地方整備局をはじめ、全国の地方整備局等からTEC-FORCEのべ11,673人・日派遣(7/3～9/21)、日最大派遣数 607人(7/13)は、東日本大震災(521人)を超え過去最大
- 岡山県倉敷市真備町では24時間体制で緊急排水を実施し、約1,200haの浸水を3日で解消
- 被災した公共土木施設の被災状況調査を実施し、迅速な激甚災害の指定(7月24日閣議決定)に貢献
- 甚大な土砂災害が発生した箇所等で二次災害防止のための被災状況調査を実施
- 散水車や路面清掃車等を派遣し、防塵対策や給水支援を実施
- 市街地や道路・河川等に堆積した土砂や流木・がれき等の撤去を支援



全国の排水ポンプ車23台を集結し24時間体制で排水
(岡山県倉敷市真備町)



土砂災害箇所における被災状況調査
(広島県安芸区)



大豊町長への調査結果報告と技術的助言
(高知県大豊町)



二次災害防止のため被災状況調査(ドローン活用)
(愛媛県宇和島市)



散水車による防塵対策
(岡山県倉敷市真備町)

生活用水の給水作業
(愛媛県宇和島市)



河道閉塞箇所における土砂等の撤去作業
(広島県坂町)